

希望のサクラ 沼田に 雪山に埋設し保管

【沼田】雪の冷気で開花を遅らせたサクラを東京五輪マラソン・競歩会場の札幌市内の沿道で咲かせる構想を描く北海道雪氷桜プロジェクト

プロジェクト実行委員会（札幌市）は25日、全道から集めたサクラを町内に作った保管用の雪山に埋設した。五輪開催延期を受けて実現は



全道から集まったサクラの枝をコンテナに置く横山茂町長

先延ばしとなり、実行委は今後、何らかの形でサクラを展示する予定。

実行委は道内の経済人らで構成し、道内自治体から枝切り後に不要になったサクラを譲り受け、夏に開花させる試行を2年前から続けてきた。来年に向け「もっとサクラを集め、今度は（東京五輪の）入場行進でも使ってもらえるよう働きかけたい」と前を向く。

今年には北見市や岩見沢市など34市町村から約3200本のサクラが集まっていた。この日は、横山茂沼田町長らが、つぼみのついたサクラの枝をコンテナ10基に入れ、クレーンで雪山に埋めた。

同プロジェクトの越智文雄実行委員長は、「取り組みは続ける。困難を乗り越えた証しとして、希望のサクラを大舞台で咲かせたい」と語った。（矢野 巨）

2020年3月26日(木)北海道新聞空知版